

水運用が中小水道を変える

横浜ウォーター 宮城県山元町の支援を事例に



山元町は震災により町の姿が大きく変化する

人口減少と維持更新の時代、中小水道事業体における「水運用」が経営基盤強化のツールになる。横浜ウォーターでは、研修事業のメニューの一つとして「水運用研修」を提供しているが、平成29年度には、東日本大震災被災後の「水運用研修」を委託して、被災地である宮城県山元町に「水運用研修」を実施した。本特集では、同社の小野好信さんと西本隆一さんに中小水道事業体における水運用の課題と解決策のヒントを聞いた。

■マッピングの整備
横浜ウォーターが提供している「水運用研修」は、マッピングデータの整備が前提となっている。マッピングデータは、水運用の基礎となる。水運用に関する技術開発や、水運用の手順のアドバイスが中心となる。手配として、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。

業務をつなぎ、未来に残す

水の流れを知り将来計画を

一人ひとりの経験や感覚に基づいて対応している。新たな水運用の現場で、マッピングデータが活用される。水運用の現場では、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。水運用の現場では、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。

水運用の現場では、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。水運用の現場では、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。

水運用の現場では、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。水運用の現場では、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。

水運用の現場では、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。水運用の現場では、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。

水運用の現場では、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。水運用の現場では、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。

水運用の現場では、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。水運用の現場では、水運用の現場で活用できるようなマッピングデータの整備が求められる。

山元町における水運用の改善



山元町上下水道事業所施設課 手塚利幸班長に聞く



山元町は、本町の町域にあり、福島県と宮城県の境界に位置している。現在の人口は約4,000人である。震災前は、本町の町域にあり、福島県と宮城県の境界に位置している。現在の人口は約4,000人である。

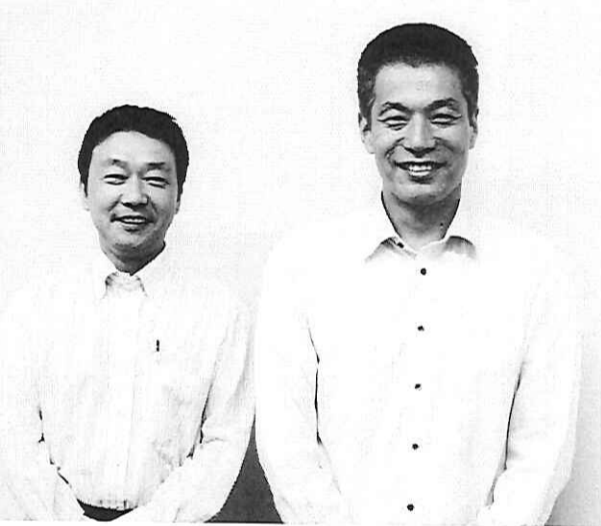
停滞水の実態を把握、改善

山元町は、本町の町域にあり、福島県と宮城県の境界に位置している。現在の人口は約4,000人である。震災前は、本町の町域にあり、福島県と宮城県の境界に位置している。現在の人口は約4,000人である。

山元町は、本町の町域にあり、福島県と宮城県の境界に位置している。現在の人口は約4,000人である。震災前は、本町の町域にあり、福島県と宮城県の境界に位置している。現在の人口は約4,000人である。

山元町は、本町の町域にあり、福島県と宮城県の境界に位置している。現在の人口は約4,000人である。震災前は、本町の町域にあり、福島県と宮城県の境界に位置している。現在の人口は約4,000人である。

山元町は、本町の町域にあり、福島県と宮城県の境界に位置している。現在の人口は約4,000人である。震災前は、本町の町域にあり、福島県と宮城県の境界に位置している。現在の人口は約4,000人である。



横浜ウォーターの西本さん(左)、小野さん

モノづくりで未来を創る
KURIMOTO
www.kurimoto.co.jp

次世代へとつなげたい、安全で確実な水システム。

きれいで安全な水を、いつまでも大切にしたい。
この思いを実現するため、高性能の水道システムを提供してきたクリモト。
そして、数々の製品づくりに込めた情熱を次世代へとつなげるため、
私たちは、未来に向かって走り続けます。

クリモトがパイプ、鉄管&バルブ

株式会社 栗本鐵工所 鉄管事業部

●本 社 〒550-8580 大阪市西区北堀江1丁目12番19号 ☎(06)6538-7641 ●東京支社 〒108-0075 東京都港区港南2丁目16番2号 ☎(03)3450-8510
●北海道支店 ☎(01)1281-3302 ●東北支店 ☎(022)227-1873 ●名古屋支店 ☎(052)551-6932 ●中国支店 ☎(082)247-4133 ●九州支店 ☎(092)451-6623